

令和6年度 学校評価表（最終評価）

5 中野立志館高等学校 定時制

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）
1 学び究めようとする心の涵養に努める 2 責任ある社会人になるための人間性の陶冶を促す 3 心身共に活力のみなぎる生徒を育む 4 生命を尊び人権を尊重する心を培う	1 基礎学力を身につける 社会で生きていくための基礎的な知識を、座学だけでなく体験的な課題追究型学習を通して身につくようにする 2 社会性を身につける 基本的な生活習慣や社会のルールを、学校生活や就労を通して会得できるようにする。また学校行事・生徒会活動などを通じて、友人との協力・共同を培い、友情を深めることができるようにする 3 自主性を高め、自己表現を豊かにする 総合的な学習（探究）の時間や生徒会活動・学校行事などを通して、思考力・表現力を養い、意欲・成就感が得られるように努め、自信を持って歩めるようにする。また自分の将来を見つめながら自己啓発につながる進路指導に配慮するとともに、芸術鑑賞などを通して豊かな情操感を培うように配慮する
今年度の重点目標	
1 いじめや暴力を許さない安全・安心な学校づくりを進める 2 基本的な生活習慣の確立、規範意識の向上を目指し、きめ細やかな生徒指導や支援を行う 3 対話的な授業を通して、生徒の学習意欲を引き出し、基礎学力の定着とコミュニケーション能力の育成を図る 4 勤労観・職業観の形成を促すとともに生徒個々に応じた支援を行い、進路に対する意識を高めていく	

評価項目	評価の観点	成果と課題	達成度	改善策・向上策
1 ICT 活用	① 生徒一人一台タブレットの活用方法の研修と実践を行い、生徒の学習意欲を引き出し、生徒が主体的に取り組むことができる授業がなされたか	① 職員研修を3回行い、タブレットの活用できる教科から、授業実践に取り組んでいる。一部の生徒について、機種の違いやアプリの違いで戸惑う生徒もいるが、タブレットを通しての課題のやり取り等概ねできるようになり、生徒も主体的に課題に取り組んでいる。	A	① 研修で学んだことを積極的に取り入れ、タブレットを利用した授業方法を更に研究していく。
2 授業の充実	① 個々に応じた有効な対応がなされたか ② 総合的な探究の時間を中心に表現力、コミュニケーション能力等、社会で必要とされる力を伸ばす授業がなされたか ③ 特別な支援が必要な場合について、授業方法等に関する研究や、必要な支援がなされたか	① 1年生の国語の授業で少人数の習熟度授業を実施している。多くの授業において、ドリルや補足資料、生徒に合ったプリントを使い、生徒主体の授業を行っている。 ② 自己表現の場として、作文を書かせる時間を持ち、校内生活体験発表会で発表した。12月には、プレゼンテーション能力を身に付ける目的で、課題研究発表会を行った。3年生は教養基礎の授業でコミュニケーション能力を伸ばすため、外部講師による出前授業を行った。 ③ 生徒理解のための情報交換を年度当初及び職員会議ごとに実施し、全職員が共通理解を持って授業や生徒対応を行った。また、地域の発達障がいサポートマネージャー・養護学校の教育相談担当教諭と連絡会を実施し、特に1年生の対応に生かした。	B A A	① できる限り少人数授業は継続し、検定等も継続的に受験できるように整備していく。 ② 多くの生徒が発表できる工夫を行い、外部講師などと連携して更に表現力を身につけさせる機会をつくる。 ③ 情報交換は年度当初や職員会以外にも、必要に応じて随時実施していく。

<p>3 生徒支援体制の充実</p>	<p>① 出欠席をはじめ、生徒の日常生活を把握し、保護者とも連携して必要な対応がなされたか</p> <p>② 生徒個々の状態を把握し、カウンセリングや外部機関との連携を行って早期の対応が図れたか</p> <p>③ 行事、生徒会活動、クラブ等の際に、生徒の自主性を高め、生徒に成就感や自信を待たせるような工夫がなされたか</p> <p>④ 多様な生徒に対応するための研修・研究や、日常的な支援がなされたか</p>	<p>① 毎時間の出欠は入力システムにより、欠時数の把握を行い、担任から保護者への連絡も即座に行われた。</p> <p>② 必要に応じて情報共有を行い、生徒個々の理解につとめた。通常のカウンセリングの他に、スクールカウンセラーには5月に1年生全員と面談してもらい、生徒の状況を把握できた。カウンセリングでは担任がコンサルテーションに参加できない場合は、情報やアドバイスを可能な限り文書にして担任に伝えるようにした。出身中学校や家庭児童相談員と随時情報共有を行い、対応・支援に生かした。</p> <p>③ 文化祭では生徒アンケートに基づき、テーマ・制作内容を決め、生徒全員が参加し、「ちぎり絵」を制作・展示することができた。学習成果発表として、3年生は『私の手』をテーマにした鉛筆素描と苔テラリウムの展示、5月に実施した野外教室のまとめの作成・展示、来場者の皆様へアサガオの苗を配布することができた。文系同好会は文化祭で手芸作品や切り絵などを展示し、バドミントン部、卓球部が県大会出場、バドミントン部女子が全国大会出場を果たした。</p> <p>④ スクールソーシャルワーカー、子ども相談室・福祉課(中野市・須坂市・山ノ内町)、まいさぼ信州長野、障がい者支援センター(中野市・須坂市)と連携ができています。また、6月に全生徒へのアセス調査を実施し、その結果を職員間で共有した。12月には職員研修として須坂市の夢工房福祉会の見学を実施した。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>① 今後も保護者への連絡が即座に行えるように継続していく。</p> <p>② カウンセリングのコンサルテーションは可能な限り担任も同席する。外部機関とは問題が生じた時だけでなく随時連絡を取り合い、早目の対応ができるようにしておく。</p> <p>③ 今後も生徒の自主性を高める工夫を重ね、活気ある生徒会活動を目指していく。部活動への取り組みを呼びかけていく。</p> <p>④ 今後も年に1回は職員研修の機会を設けていく。SSWや市町村・関係機関との情報交換を続けていく。</p>
<p>4 進路実現 ・キャリア教育</p>	<p>① 進路実現のための個々に応じた支援ができたか</p> <p>② ハローワーク、就業支援センター等外部の関係機関と適切に連携をはかることができたか</p>	<p>① 就職希望者には職員全員で分担して面接練習を行って就職試験に臨ませた。進学希望者にも進学先の傾向に応じて個別に学力補充や面接の指導を行っている。</p> <p>② ハローワーク主催の企業見学への参加や教養基礎の授業や就職希望者の模擬面接指導において就業支援地域アドバイザーによる出前講座や業者による講座を活用し、職業観の形成や就職の内定に結びつけることができた。</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>① 就業体験活動や体験入学への参加を継続して呼びかけていく。</p> <p>② 今後も関係機関との連携を密にして取り組んでいく。</p>
<p>5 人権尊重</p>	<p>① いじめについて実態を把握し、適切な対応がなされたか</p> <p>② 人権意識を高めるための取り組みができたか</p>	<p>① アンケートを実施するとともに、スマートフォン(SNS)による誹謗中傷・日常生活中での好ましくない言動等について、折に触れて注意喚起を行った。</p> <p>② 人権平和学習として、井出今日我さん(オンライン)と猪俣竜さんを招いて講演会を実施し、多様性と助け合いの社会について考えさせる機会を持った。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>① 今後もアンケートを継続し、いじめの早期発見・対応に生かす。</p> <p>② 今後も年間を通して取り組んでいく。</p>

6 地域との連携	① 地域の方に本校教育活動の実態を理解していただけるよう、学校の公開等を随時行うことができたか ② HP、学校案内等により、適切な情報提供に努めることができたか	① 学校公開授業は年3回計画をした。4月は保護者の参観、9月は中学生の参観、11月には、中学生・保護者対象の学校見学会を行った。 ② HPは行事のあるたびに更新して常に新しい情報を提供し、行事等の写真を掲載している。学校案内も早めに作成して情報提供をした。	A A	①中学生の参観者が増加した。引き続き随時公開していく。 ②引き続き、常にHPを最新の情報を提供できるようにしていく。
7 安全安心な学校環境の維持	① 生徒が安心して学べる環境を維持するための検討がなされたか	① 4月に地震想定避難訓練、9月に地震・火災想定し、実際に電気を消し、暗闇の中での訓練を実施した。	A	①生徒の防災意識をより高める避難訓練を2回実施する。
総合評価	[成果と課題] 多様な生徒に対して少人数制の授業や個別指導を行い、一定の成果が得られた。 学校カウンセラー、SSW、生活支援相談員、市の保健師、外部講師などとの連携によって、進路や生活面での支援が充実できた。 タブレットの職員研修会計画し、充実した研修会ができた。		[改善策・向上策] 生徒の現状を考えた教育課程を研究し、単位制の検討をしていく。 引き続き、外部の関係機関との連携を強化して、生徒支援体制を充実していく。 生徒の学力向上のため、ICT機器やタブレットの活用を含め、授業の工夫をすすめる。 少人数での授業の継続、外部講師の活用などに取り組んでいく。 検定や資格取得が目指せるよう、環境を整備していく。	